



# 茅野市図書館 リスの森通信



令和3年3月5日  
茅野市図書館 第20号

## 3月・弥生 春の足音が近づいて来ました！

寒さも和らぎ、春の訪れを感じられるようになってきました。

3月の異称の弥生の語源は、「草木がいよいよ生い茂る月」という意味があるそうです。桃や梅、桜の花が咲き出し、春の到来を告げます。

今年の桜の開花は例年より早いようなので、春の訪れが待ち遠しいです。

### 新しい本が入りました



● シリアで猫を救う

Y302 ア

アラール・アルジャリール  
ダイアナ・ダーク 著



● 地域学をはじめよう

Y361 ヤ

山下祐介 著



● 自分を励ます英語名言101

Y830 コ

小池直己  
佐藤誠司 著

### ★なるにはBOOKS★

- 青年海外協力隊員になるには
- 裁判官になるには
- ミュージアムを知ろう

### ★岩波ジュニア新書★

- 女の子はどう生きるか
- 人は見た目！というけれど
- 10代から考える生き方選び

春は新しい季節の始まりです。

桜など春を連想させる本や、この季節に読んでみたい本を紹介します。

ティーンズコーナーにも、関連した本を紹介していますので読んでみてください。

### 職員おすすめの本を紹介します

#### 『風のことば 空のことば 語りかける辞典』

長田弘 詩 いせひでこ 絵  
講談社

詩人の長田弘さんは、たかさんの詩を残され2015年に亡くなりました。この本は、長田さんが亡くなる前に「語りかける辞典」という名前の詩集として出版したいと願った本です。「朝」「空」「花」など、長田さんのあたたかい言葉が心にしみてきます。そして、いせひでこさんの描くやさしく穏やかなイラストも素敵です。春、長田さんの詩を読んで、やさしさやあたたかさを感じてみましょう。

(湯田坂)



#### 『さくら坂』

千葉朋代 作 小峰書店

桜並木の長い坂の上にある高校に通う美結。アナウンサーになるという夢を持ち、部活動にも力を入れていたある日、足を骨折し入院。そして医師から告げられた言葉は「片足の切断」だった。美結は、絶望の中でも人との巡り合いで、いろいろなことを自分で考え、選択し、成長していきます。「夢を持ち前に進んでいこうとする姿を応援したい」そんな気持ちになる一冊です。(中村)



#### 『小鳥の贈りもの』おおぞら に向かって飛び立つあなたへ

ピルッコ・ヴァイニーオ 作  
山川敏矢・山川亜希子 訳  
アノニマ・スタジオ  
かわいい小鳥が、いろいろな体験をしながら成長していく様子が描かれた小さな絵本です。日々の中で何かをしなければと焦っている人、ちょっと失敗して落ち込んでいる人、新しいことを始めたいと思いつつふんざりがつかない人……。そんな人たちの背中をそっと押してくれる大切なメッセージがたくさんつまっています。ゆっくりと自分の心を見つめなおしてみましょう。『あなたの才能は、これから大きく花ひらいてゆきます』(本文より) (川口)

